

## 私のすすめるこの1冊

中村 力 (数学科 准教授)

### 『1から100までのえほん』

たむら たいへい (作・絵)

算数では、1年生のはじめに10までの数について学びます。数が表す量だけでなく、数字の書き方についても学ぶ、とても大切な単元です。

一方で、「1個、2個」のような表現は日常会話に溶け込んでいます。子供は「あと1回だけ！」と要求することがあります。カレンダーには「7月1日」のように、数字で日付が書かれています。私たちの身の回りは数であふれていて、何かを伝えようとするとき、数は言葉の中によく現れます。だから、就学前に数について家庭で教えるのは、とても自然なことです。

しかし、まずは子供に、数について興味を持ってもらわなければなりません。数を言えるようになるだけでなく、使い方も理解してもらう必要があります。これらのためには、数えることが楽しいと感じてもらうのが、一番の近道のように思います。

この絵本は少し大きめで、本のサイズを活かして、沢山の可愛らしい絵が登場します。ストーリーも子供にとって掴みやすく、惹きつけるものがあります。主人公は、5匹のコアラです。初めは楽しそうに遊んでいるのですが、あるトラブルが起きてしまい、シーンがどんどん移り変わります。そして移り変わる度に少しずつ、登場する生き物や、物の数が増えていきます。

まだ数をしっかり数えられなくても、純粋な絵本としても、楽

しみやすい構成になっています。例えば数が多くなると、5個や10個などの「まとまり」を作った描き方がされています。そのまとまりごとに、色や種類が変えられていて、子供が飽きない工夫がされています。表紙の裏側にも大きく絵が描かれていて、そこを観察するだけでも、きっと子供は楽しめるはずですよ。

また、物の個数を数える基数(きすう)という数の側面と、順番を数える序数(じょすう)という数の側面の両方が、さり気なく絵本に込められています。数に慣れてきたら、「何番目？」といった問いかけをしてもよいかもしれません。

この絵本について特に素晴らしいと感じた点は、20や30といった数の大きさを、楽しみながら経験させてあげられることです。数を覚え始めたばかりの子供にとっては、3個や4個を視覚的に判断することも容易ではありません。ましてや、100という量がどのくらい多いのか想像できるまでには、沢山の経験が必要です。最後の見開きのページいっぱいに描かれた100匹の生き物は、そのような経験の一部になってくれることでしょう。

「楽しみながら学んでもらう」というのは、教育に共通した理想形の一つです。この絵本は、まさにそのように作られていると思います。家庭教育はもちろんのこと、幼児教育や算数教育の参考としてもおすすめしたい一冊です。



私は、教職大学院初任期教員養成コースに所属しています。校種は、中高で、保健体育です。学部ではスポーツ全般と社会学について学んでいました。

学部は他大学ですが、学部時代にもラーニング commons のような場所で支援員を行っていました。こちらの大学でも皆さんの素敵な学生生活に少しでもお力になれると幸いです！スポーツ全般や社会学についてまた、教育実習に関する事など、何でも気軽に相談に来てください！  
(初任期教員養成コース M2 スポーツ心理学)

## 学修支援員より 自己紹介 (PART 2)



こんにちは！今年度も学習支援員を務めさせていただきます！  
私は STEAM 教育を中心に大学院で勉強中です！

大学院進学や教員採用試験、普通の大学生活、非常勤講師について etc...  
幅広く相談に乗ります！木曜日担当ですので、遠慮なく相談しにきてください！  
(教科学習探究コース M2 数学/STEAM 教育)

### 学修相談カウンター実施中！



授業や教採のことなど、先輩に相談してみませんか？

【対面相談】原則として月・火・木・金の 12:00~12:50、2 階のラーニング commons にて。予約不要。

【Web 相談】Google フォームでいつでも気軽に相談できます。

(大学 Google アカウントでログインが必要です)



Web 相談フォーム

ぜひ投票してくださいね！

### リクエストと投票で話題の本を読もう！

学習研究以外のリクエスト本を一定期間掲示し、みなさんの投票で購入する本が決定する企画です！学生・教職員のみなさんからのリクエストをお待ちしています。

【6・7月の投票期間】6月23日(月)~7月26日(土)

### 「2025 前期ブックハンティング」選出本を展示しています！

5月21日(水)、京都丸善本店にて前期ブックハンティング(選書ツアー)が開催されました。

参加は4名と小人数でしたが、バラエティー豊かな本が選ばれています。

選んだ学生本人の推薦文などとともに、7月22日(火)から1階渡り廊下新着図書の際で展示します。どなたでも自由に借りられますので、是非ご利用ください！



前回の展示の様子

### 電子ブック全文試し読み実施中！

【実施期間】6月2日(月)~8月1日(金)※2ヶ月

紀伊國屋提供プラットフォーム、KinoDenにおける電子ブック全文試し読みを実施中です！  
普段は目次程度しか読めない試し読みが、期間中は1冊につき5分間読み放題！！

また、気になった電子ブックの購入リクエストもできます。(リクエストは利用統計や選書方針を元に購入可否を決定します)この機会に是非、電子ブックの試読&リクエストをご利用ください！



### 電子ブックのポスターを掲示しています

新着コーナー横で「じてん特集」ポスターを掲示しています。

今まで購入した電子ブックの中から事典/辞典を PickUp しています。

紙だと貸出できなかったり重くて利用しづらかったりする事典類も、電子ブックならいつでもどこからでも気軽に読めますよ。

少しでも気になったものがあれば、ポスター下の QR コードを切り離して利用してくださいね。



京都教育大学  
それはかなう夢講座

「先生になりたいーそれはかなう夢」は、京都教育大学のシンボルフレーズです。「それはかなう夢講座」では、本学の教職員が、学部、大学院のすべての専攻、研究科の学生や教職員の皆さんを対象に、科学の魅力をわかりやすくお伝えしていきます。

第47回のおしらせ

YouTubeで7月中旬に公開予定

【講師】小林賢太(国文学科 講師)

【テーマ】短歌の授業～ことばの世界ではばたこう～

<概要>小学校・中学校の国語の教科書には、必ずといって良いほど詩歌が収録されています。詩歌は物語文や説明文とは異なり、ときに論理をこえて言葉同士のつながりや発想に飛躍が生じます。そのため、授業内での詩歌の扱い方に戸惑う先生も多いのではないのでしょうか。

そこで本講座では、詩歌のうち短歌を取り上げ、ささやかながら授業提案をしてみたいと思います。具体的には、教科書に載っていない現代短歌を教材に、穴埋めクイズ形式の授業について検討します。子どもたちが楽しみながら言葉の世界を広げ、豊かな想像力を育てるような授業を一緒に考えてみませんか。

主催:「現代的ニーズを踏まえた「理系」教員養成のためのカリキュラム開発」プロジェクト委員会

後援:京都教育大学同窓会・京都教育大学附属図書館

※今までの回も  
視聴できますので、  
ぜひご覧ください!



2025 附属図書館コンサート(報告)

授業科目「器楽基礎演習」(音楽科/山口博明教授)の受講生によるコンサートが、6月5日(木)13:00~14:00 に開催されました。

今回は事務局棟改修工事により中庭へのアクセスが困難になったため、児童書コーナーで行われました。また、同じく企画展示室の代替場所として児童書コーナーで展示していたカラクリサークル PYTHA 制作のピタゴラススイッチを実際に動かしながら、NHK の番組「ピタゴラススイッチ」のテーマ曲やBGM を演奏するという初のコラボレーション企画が行われました。

ピタゴラススイッチ  
とコラボ中



トーンチャイム、  
リコーダー、ハン  
ドベルなどによる  
合奏



日曜開館を実施します

日曜日(7月27日、8月3日)の10時から17時まで開館します。試験勉強などにぜひ!



夏季休暇に伴う長期貸出について

学部生:7月23日(水)~9月22日(月)

院生・教職員:7月9日(水)~9月9日(火)

【返却期限日】10月8日(水)

※卒業・修了予定者は9月10日(水)まで



職場体験(報告)

京都市立深草中学校2年生がチャレンジ体験で、6月10日(火)から6月12日(水)の3日間、図書館資料の装備や、カウンターでの貸出・返却などの仕事を体験しました。3日間しっかり仕事に取り組んでくれました。



☺ 図書館出入口に設置しているメッセージボードも中学生に書いてもらいました!

児童書コーナー(南館1階)

幼児教育科主催  
えほんのもい

今月の絵本カード(学生作)

『バムとケロのそらのたび』  
作:島田ゆか  
出版社:文溪堂

※児童書コーナーにかわいいカードが飾られていますので、ぜひ見に来てください。



教育資料館 まなびの森ミュージアム

【7月の開館日時】

7日(月)、14日(月)、28日(月)  
14:00~17:00

教育資料館 まなびの森ミュージアム  
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/museum/>

## 論のくちび理のむすび

今回の執筆者 **小林 賢太** (国文学科 講師)

### 『言葉集』注釈(十一)

小林 賢太・穴井 潤・中村 文・持田 玲

京都教育大学紀要 2025, No.146, pp. 129-146  
URI:<http://hdl.handle.net/20.500.12176/9943>



平安末期に編纂された歌集『言葉集』の一部を注釈しました。古典の専門家なら和歌の解釈なんて簡単にできるのでは?と思われるかもしれませんが、そんなことはありません。歌を解釈するのはなかなか大変な作業です。ここでは『言葉集』290番の歌を例に、それを紹介してみます。原本はカタカナで書かれています。□は虫損部分です。

残菊を

権僧正公胤

フナカラマタシラキクノミエツル□マカキニシモヤノコシヲ克蘭

虫食い部分を推測し、漢字と平仮名の分かりやすい表記にすると「冬ながらまだ白菊の見えつるは籬に霜や残し置くらん」となるでしょうか。歌の題「残菊」とは、秋の盛りを過ぎても咲いている菊を指します。

さて、この歌の一つ目の問題は「マタ」です。昔の日本語表記では濁点は書きません。そのためこの部分は「また/まだ」二つの可能性があります。「冬なのに**また/まだ**白菊が見える」。どちらでも意味が通ってしまいます。

二つ目の問題は白菊の正体です。菊の花は急な寒さや霜にあたると細胞や色素に変化が生じ、紫に変色します。この歌の場合、「霜が菊を紫に変色させることなく、白いまま残しておいた」という解釈、「紫に変色した菊に霜がおりて白菊に見える」という解釈、さらには「花が枯れてしまったあとに霜がおりて、実際には花がないのに白い花があるように見える」という解釈など、いくつかの可能性が考えられます。こうした複数の可能性から最も適切な解釈を導き出すためには、語彙の用例や文化的背景を調査し、感覚ではなく客観的な証拠を集める必要があります。たった一首の和歌でも、読解のためにはあれこれ思案を巡らせる必要があるのです。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要146号に掲載されています。

※京都教育大学リポジトリ「クエリ(KUERe)の森」<https://ir.kyokyo-u.ac.jp/>に掲載されています。

開館日程 □9:00-20:00 ■9:00-17:00 ■10:00-17:00  
■9:00-21:00 ■休館(CLOSED)

2025年7月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

7/2 館内整理日  
7/26 大学院入試  
7/30-8/5 前期末試験

2025年8月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

7/30-8/5 前期末試験  
8/6-9/30 夏季休業  
8/14-8/15 夏季一斉休業

※開館日程につきましては、変更となる場合がございますのでホームページをご確認ください。

●京都教育大学附属図書館ホームページ  
<https://www.kyokyo-u.ac.jp/library/>  
(QRコード→)



京教図書館 News No.298 (2025年7月号)  
発行日:2025年7月1日  
編集発行:京都教育大学附属図書館  
問い合わせ先:library@kyokyo-u.ac.jp

国立大学法人  
**京都教育大学**  
KYOTO UNIVERSITY OF EDUCATION